

古代山城・大野城（山城ルート）をてくてくしてみよう！！

1 大野城心のふるさと館

大野城心のふるさと館は、歴史・子ども・にぎわい（観光）をキーワードに、「ふるさと大野城」をまるごと体感できる施設です。大野城市の歴史の移り変わりの解説や、文化財の展示などの他、体験コーナーも整備されています。「古代山城・大野城」をはじめ、トレイルに関する情報も満載です。是非お越しください。



2 道標石 どうひょうせき

釜蓋の古い集落のはずれにある道しるべです。自然石を台座にした角形の石柱で、刻字から江戸時代中期に釜蓋の人々によって建てられたことがわかっています。道標自体が旅行や行路安全の神さまとして人々に信仰されてきた大変珍しいものであり、両脇にはいつのころからか2体の仏像が据えられています。



乙金地区の古墳群

乙金山・四王寺山の麓には、古墳時代を通じて多数の古墳が造られました。トレイルでは、その一部をご紹介します。古墳時代にどのような暮らしがあったのか、現地に立って思い描いてみましょう。

3 雉子ヶ尾古墳 きじがおこふん

6世紀の終わり頃（古墳時代後期）に造られた古墳です。古墳周辺は住宅地となっていますが、開発前の発掘調査では集落跡や須恵器窯跡も発見されています。



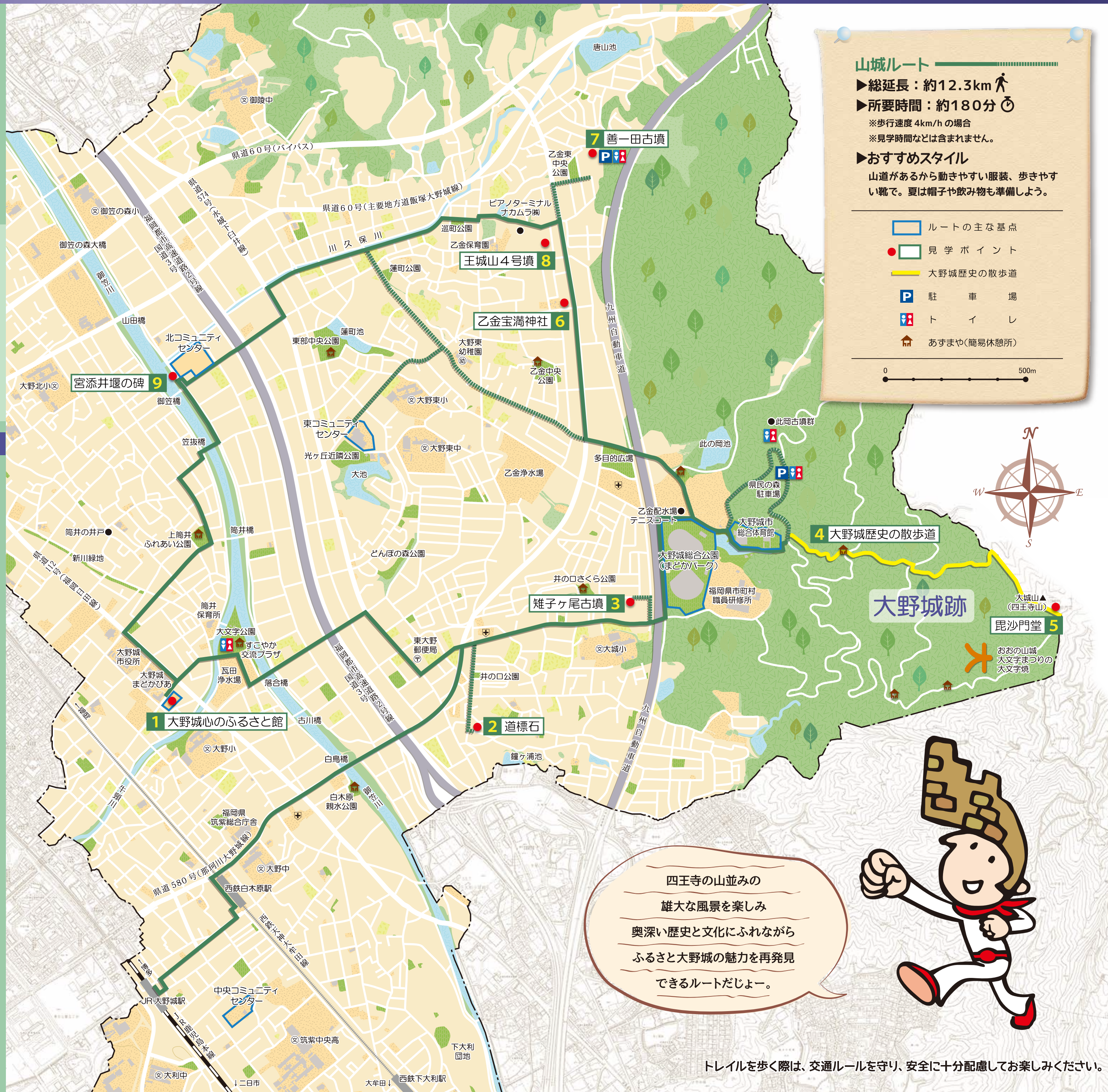
7 善一田古墳 ぜんいちだこふん

6～7世紀頃の群集墳であり、直径約25mの18号墳をはじめ、多数の古墳があります。その後の歴史的背景を考慮すると、水城・大野城築造前史において重要な役割を果たしたと考えられています。



8 王城山4号墳 おおぎやま4ごうふん

6世紀の終わり頃（古墳時代後期）に築かれた円墳（直径15～16m）です。乙金区正栄寺の裏山、ピアノターミナルナカムラ（櫛）の敷地内に保存されています。横穴式石室が完全な形で残っています。発掘調査では、須恵器・勾玉・刀子・鉄鉋・馬具などが出土しています。（私有地ですので見学の際はご注意ください）



山城ルート

▶総延長：約12.3km

▶所要時間：約180分

※歩行速度 4km/h の場合

※見学時間などは含まれません。

▶おすすめスタイル

山道があるから動きやすい服装、歩きやすい靴で。夏は帽子や飲み物も準備しよう。

ルートの主な基点

見学ポイント

大野城歴史の散歩道

駐車場

トイレ

あずまや（簡易休憩所）

0 500m



四王寺の山並みの

雄大な風景を楽しみ

奥深い歴史と文化にふれながら

ふるさと大野城の魅力を再発見

できるルートだじょー。



トレイルを歩く際は、交通ルールを守り、安全に十分配慮してお楽しみください。

大野城跡（四王寺山）

『日本書紀』に記されている日本最古の山城であり、市名の由来にもなっています。天智4（665）年、四王寺山（大野山）の地形を利用した朝鮮式山城として築かれました。

巨大な山城で、土塁に囲まれる範囲は約200haに及びます。「特別史跡大野城跡」に指定され、更に「日本100名城」、「美しい日本の歴史100選」に選ばれる等、多くの人に親しまれています。



4 大野城歴史の散歩道

おおのじょう
れきしのさんぽみち

大野城跡を歩きながら、歴史を学び自然を体験し、健康を得ることができる、整備された歩きやすい登山道です。

随所に素晴らしい眺めが望めるスポットがあり、季節ごとに植物の彩りを楽しむこともできます。



5 毘沙門堂 びしゃもんどう

大野城が築城された約100年後、宝亀5（774）年に、四天王を祀る四王院が建立されました。毘沙門天、広目天、持国天、増長天という地名が今も残り、その一つに建立されているのが毘沙門堂です。

毘沙門堂は1月3日早朝から多くの参拝の人で賑わい、この日に毘沙門天さまからお賽銭を借りて、翌年に2倍にしてお返しすると、金運に恵まれると伝えられています。



6 乙金宝満神社 おとがほうまんじんじや

創建は文禄4（1595）年で、その後現在の場所に移されました。本殿には御神体として女神像一体と木碑二個が祀られています。また、「夏越し祓い祇園踊り」の絵馬があり、この絵馬は市内に奉納してある絵馬の中でも最も古く、江戸時代後期の天保2（1831）年博多の町絵師、村田東圃によって描かれたものです。



9 宮添井堰の碑 みやぞえいぜきのひ

「ひんどの人柱と火の玉」の伝説にまつわる記念碑です。「むかしむかし、御笠川の度重なる氾濫に困り果てた村人たちは、人柱をたてて井堰を築くことにしました。その時、庄屋甚兵衛さんがある提案をし、無事に完成した宮添井堰は、その後の大洪水にも壊されず田畑を潤し、豊作が続いて豊かな村になりました。」

現地には、記念碑とともに、伝説を記した陶板があるのでぜひご覧ください。

